

協働事業企画書

協働事業名	心を込めた花で明るい街づくり
地域における 現状と課題	55年前、和光市の前身、大和町の人たちは「心を込めて沿道に植えた花は口はきけなくても遠来の客を迎える美しい心を表すことはできる。反対に道路に散らした紙くずなどは、すさんだ日本人の汚い部分をさらけだしているようだし遊園地の壊れたブランコなども将来の日本をになう子ども達の姿を思わせるようで暗い気持ちになる。オリンピックを機に街を愛する良心と公共心にめざめ美しい考えをもってお互いに協力し合いきれいな街にしよう。」と当時の広報大和に記載されている。世紀のスポーツの祭典オリンピック・パラリンピックが2020年7月～9月開催される。埼玉県でサッカー、ゴルフ、バスケット、射撃競技が行われる。一昨年の県政世論調査における4競技に対する県民の認知度では和光市に跨る自衛隊基地内で行われる射撃競技は10、9パーセントと一番低い。気運醸成、啓発活動で市民の関心度を高めオリパラが成功裏に実施されるように更に街の美化運動展開になるように市民と市が協働することが必要と考える。来年は市制50年を迎える節目の年でもある。
事業を提案 した理由	射撃競技の参加国は100ヶ国を超えると予想される。世界各国、国内からの観戦応援客は和光市駅で下車しシャトルバスで会場に向かう。駅前広場、駅周辺に花プランターを設置し周辺のゴミ拾い等も実施し、心から歓迎し、おもてなしの気持ちを伝えたい。オリパラ後も各地で花いっぱいきれいな街作りをめざそう。1964年東京五輪の時、大和町の人たちはオリンピック道路沿道に花プランターを設置し歓迎の意を表したことが広報大和に記載されている。
事業の内容	①花は来年春先から9小学校、3中学校、2特別支援学校、2高校、シャローム大学等でプランターに培養土を入れて苗、種を植え付けて育てる。6月下旬～7月上旬に現地に運び、設置する。水やり等の管理は市民有志で行う。花の種類は検討中だが3・11被災地の福島ひまわり里親プロジェクトから種を取り寄せることも考えている。②広場及び周辺の美化運動：ゴミ拾い、雑草取り作業を定期的実施する。
協働の必要性 (行政に求める 役割)	埼玉県で行われる4競技を盛り上げるためのオリパラ県推進委員会の副委員長に和光市長は任命されている。和光市は気運醸成、啓発活動を積極的に行い市民も楽しく元気に行動参加し街の活性化にも繋げたい。行政に求める役割としては学校における花プランター作業、駅前広場等に設置の際に適切な場所、位置の指導及び広報掲載等を要望する。
協働の効果	和光おもてなし隊の実効力やネットワーク、市の指導力、信用力及び広報力を合わせるにより子どもから高齢者、障がいのある方までの多くの市民がオリパラに関心を持って行動参加し開催期間中に和光市を訪れる国内外の観戦応援客を心から歓迎し街の活性化にも繋がる。特に子ども達にとっては半世紀後に再び開催されるであろうオリパラに向けて体感体験し生涯の貴重な思い出になる。
委託料(概算)	500,000 円